渋谷混声合唱団 第27回定期演奏会

ザルツブルク宮廷音楽家

W. A. Mozart

Missa brevis in G „Pastoralmesse“ KV 140
Dixit et Magnificat KV 193
Litaniae Lauretanae B. M. V. in B KV 109
Missa in C „Spatzenmesse“ KV 220

東京オペラシティ コンサートホール
タケミツ メモリアル

［チケット料金］一般 3,000 円 学生 2,000 円 全席指定
［チケット申し込み］東京オペラシティチケットセンター
☎03-5353-9999
未就学児入場不可

2022
7.9［土］
14:00 開演（13:15 開場）

指揮：水野 克彦

ソプラノ：髙橋 節子｜アルト：谷地畝 晶子｜テノール：大島 博｜バス：浦野 智行
オーケストラ：Symphonia Fons Harmoniae
合唱：渋谷混声合唱団

ご来場時は
マスク着用をお願いします

マスク着用なし、若しくは体温
37.5度以上の場合等入場を
お断りする場合がございます

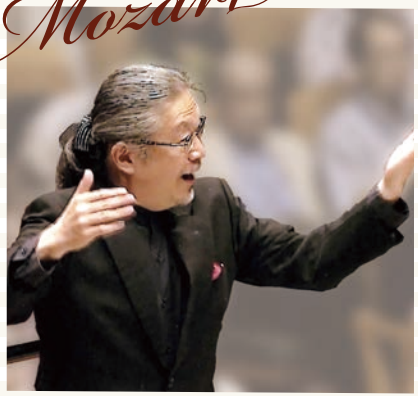
演奏会に関する最新情報は
渋混HPにてご確認ください

芸術文化振興基金助成事業

主催｜渋谷混声合唱団　共催｜渋谷区　後援｜渋谷区合唱連盟　お問い合わせ｜渋谷混声合唱団 http://shibukon.com　✉ info@shibukon.com

W. A. Mozart

渋谷混声合唱団第27回定期演奏会



水野 克彦 *Katsuhiko MIZUNO*

Conductor

東京藝術大学卒業。クラリネット専攻。在学中は東京藝術大学バッハカンタータクラブに在籍し、小林道夫氏の薫陶のもとにバッハの教会音楽作品を研究した。卒業後はクラリネット奏者としてオーケストラ、室内楽等の演奏にたずさわった。しかし、十代の頃から親しんできた合唱音楽や教会音楽へ次第に傾倒するようになり、ピアノ伴奏者および通奏低音奏者としてこの分野に参加することが多くなる。

現在は指揮者としてアマチュア合唱団の指導に力を注ぎ、オルガン演奏もライフワークとして取り組んでいる。渋谷混声合唱団、東京アマデウス合唱団、東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー、三菱 UFJ 銀行合唱団、明治学院大学グリークラブ等の常任指揮者。日本オルガニスト協会会員。日本オルガン研究会会員。

髙橋 節子

Setsuko TAKAHASHI

Soprano

札幌大谷短期大学音楽科卒業後、東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修士課程修了。在学中に藝大定期ハイドン「天地創造」のソリストに選ばれる。藝大バッハカンタータクラブに所属し、小林道夫氏の薫陶を受ける。国際ロータリー財団奨学生として、ドイツ・フライブルクに留学。

第8回日本声楽コンクールに入賞と共に田中路子賞を受賞。ドイツ・ライプツィヒ聖トーマス教会で カンタータのソリストとして演奏するなど、J.S. バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、フォーレ「レクイエム」他、多くの宗教曲ソリストを務める。R. シュトラウス「薔薇の騎士」、パーセル「ディドとエネアス」、モーツァルト「フィガロの結婚」などのオペラにも出演。東京と札幌でリサイタルを開催、演奏活動、声楽指導を行なっている。藤田道子、戸田敏子、伊原直子、Eva-Maria Hazay の各氏に師事。二期会会員。

谷地畝 晶子

Shoko YACHIUNE

Alto

岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業。東京藝術大学音楽研究科博士後期課程独唱科修了。ヨハネス・ブラームスの歌曲研究において博士（音楽）学位取得。第16回日仏声楽コンクール第 1 位。2012 年度三菱地所賞受賞。これまでに、J.S バッハ「クリスマスオラトリオ」、「ロ短調ミサ」、「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト、ヴェルディ、ドヴォルジャーク、デュルフレ「レクイエム」、ベートーヴェン「交響曲第 9 番」、「ミサ・ソレニムス」、メンデルスゾーン「パウロ」「エリヤ」、ドヴォルジャーク「スターバト・マーテル」、マーラー「交響曲第 2 番」、「交響曲第 3 番」、「交響曲第 8 番」等においてアルトソリストで出演している。現在、岩手大学、盛岡大学短期大学、盛岡看護医療大学校非常勤講師。

大島 博

Hiroshi OSHIMA

Tenor

熊本県生まれ。中央大学法学部卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科に入学。渡辺高之助、高丈二、原田茂生、中山悌一の各氏に師事。同大学院在学中の86年、ミュンヘン音大に留学、エルンスト・ヘフリガーに学ぶ。90-91 年 D. フィッシャー＝ディースカウに師事。95 年東京藝術大学大学院博士課程を修了。

宗教曲の分野で、初期バロックから現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、とりわけバッハの受難曲における福音史家の演奏には定評がある。

また、ドイツ・リート及び日本歌曲の演奏にも積極的に取り組んでおり、自主企画によるリサイタルに加えて各地での客演も数多い。96 年からは<ドイツ・リートのたのしみ>と題した、ドイツ歌曲を知るためのレクチャーを継続中。2004 年からはシューベルトの「冬の旅」演奏会を毎年開催している。

近年は、更に合唱指揮者、発声指導者としても幅広く活動し、ドイツ詩の翻訳も手がける。また、楽譜の校訂・編集にも携わり、近刊にシューベルト《冬の旅》(全音楽譜出版社) がある。

立教大学大学院キリスト教学研究科、国立音楽大学非常勤講師。ジングアカデミー東京主宰。

浦野 智行

Chiyuki URANO

Baritone

東京藝術大学別科修了 (ホルン専修)。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース修了。東京藝術大学大学院オペラ科修了。日本音楽コンクール、日本声楽コンクール、奏楽堂日本歌曲コンクール、日本モーツァルト音楽コンクール等に入賞・入選。主にオラトリオ、歌曲の分野で活躍し、特に受難曲でのイエス役や、ロシア歌曲では高い評価を受けている。

これまでにモンテヴェルディ、シュッツ、バッハ、ヘンデル、モーツァルト、ベートーヴェン、フォーレ、デュルフレ、メンデルスゾーン、ベルト等の宗教曲のソリストを務めている。

バッハ・コレギウム・ジャパンのソリスト・合唱メンバーとして多くの国内外の演奏会や CD 録音に参加。

CD「トルストイのワルツ～ロシア文豪の音楽～」(キング・レコード) に歌曲で参加、好評を得る。

渋谷混声合唱団

SHIBUYA MIXED CHORUS

渋谷混声合唱団は 1985 年 4 月に「渋谷区民音楽のつどい～第九を歌う会～」の有志により創設された市民合唱団です。2000 年 1 月に指揮及び指導者として水野克彦先生を、伴奏ピアニストとして船澤めぐみ先生をお迎えしました。両先生の熱意あるご指導のもと、混声合唱の技能を磨いて水準の高い音楽性を求めようと毎週土曜日午後に渋谷区内の会場で練習を重ね今日に至っています。

毎年、東京オペラシティコンサートホールタケミツメモリアルを舞台に、モーツァルト、バッハ、ヘンデル、ハイドン、ブラームス等の宗教曲を歌い継いできました。渋谷区から文化芸術団体としての評価をいただき、渋谷区文化総合センター大和田：さくらホールの開館記念でベートーヴェンの「交響曲第九番」を演奏いたしました。音楽を、歌を愛する人々が老若男女を問わず集う合唱団です。

シンフォニア・フォンス・アルモニエ

SYMPHONIA FONS HARMONIAE

Orchestra

2000 年に惜しまれつつ世を去った声楽家 齋藤明生氏が、生前自ら指導する合唱団のために、親友であり音楽上の良き理解者でもあった海保泉・あけみ夫妻に結成を依頼し、1990 年頃より活動を開始した。以後、楽団の名称や団員は演奏会の都度若干の変動があったが、齋藤氏と海保夫妻の要求する音楽性は常に一貫して維持されてきた。

齋藤氏没後、現指揮者 水野克彦氏がその遺志を継いで活動を続けるにあたり、新たな楽団名を Symphonia Fons Harmoniae（シンフォニア・フォンス・アルモニエ）とした。これは「楽団調和の泉」という意味であり、海保泉氏の名にちなんでいる。

♪合唱団員募集！

練習会場：	渋谷区内、オンライン併用
練習時間：	毎週土曜日 13:30～16:30 その他強化練習等あり
合唱指導：	水野克彦
ピアニスト：	船澤めぐみ
連絡先：	✉ info@shibukon.com
ホームページ：	http://shibukon.com

一度見学にいらしてください。

【交通のご案内】

京王新線「初台」東口下車徒歩5分（都営新宿線相互乗り入れ京王新線にて新宿から2分）

渋谷駅西口バスターミナルより約20分
京王バス渋61(初台駅行)渋63（中野駅行)→東京オペラシティ南下車
京王バス渋64(中野駅行)→東京オペラシティ下車
京王・都営バス渋66（阿佐ヶ谷駅行)→東京オペラシティ南下車

山手通り・甲州街道交差点首都高速4号線上り「初台」出口
下り「新宿」出口　首都高中央環状線内回り「中野長者橋」出口
外回り「初台南」出口
※詳しくはhttps://www.operacity.jp/access/をご覧ください